

# 発達が気になるお子さんの 「遊び」について



希望が丘こども医療福祉センター  
地域療育支援係  
作業療法士 西村 浩

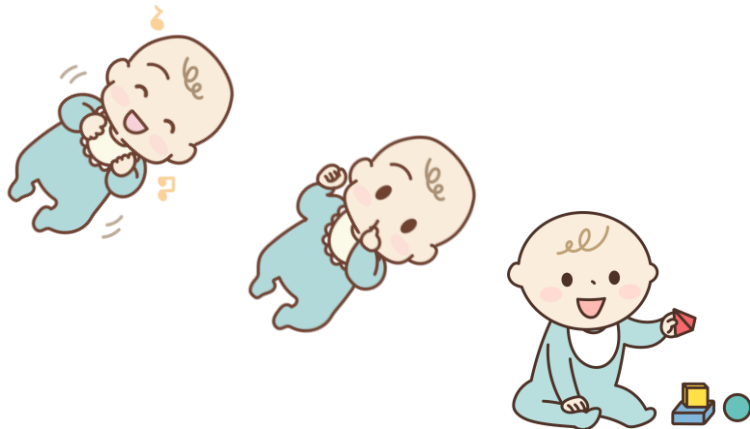
1

## 本日の内容

- ・こどもにとっての「遊び」とは
- ・発達が気になる子の「遊び」について
- ・作業療法と「遊び」
- ・保護者支援について



2



3

## 「遊び」に関する調査

全国の幼児（3～6歳）を対象とした運動実施状況に関する調査研究  
(笹川スポーツ財団・2023)

- ・幼稚園や保育園以外における幼児の運動実施の実態調査
- ・1週間のうち園外で「1日も外遊びをしていない」幼児は8.1%
- ・平日に園外で「全く外遊びをしない」幼児は46.6%
- ・幼児の7割が「物を打つ動き」、6割が「逆さまになる動き」を十分に経験していない
- ・逆さまになる遊び：逆立ち、鉄棒、親子遊びなど



4

## 「遊び」に関する調査

全国の幼児（3～6歳）を対象とした運動実施状況に関する調査研究

（笹川スポーツ財団・2023）

- 運動実施頻度が高い幼児ほど、平日の「スクリーンタイムが2時間以上」の割合は低い
- 両親ともに週1日以上運動スポーツをしている家庭の幼児は、運動時間が長い
- 親子で一緒に体を動かして遊ぶ頻度が多いほど、他者を思いやり協力的に行動できる、いわゆる社会性が高い傾向



5

## 幼児期運動指針（文部科学省）

- 幼児期は、生涯にわたって必要な多くの運動の基となる多様な動きを幅広く獲得する非常に大切な時期
- 動きの獲得には、「動きの多様化」と「動きの洗練化」の二つの方向性がある
- 「動きの多様化」とは、年齢とともに獲得する動きが増大すること



6

## 幼児期運動指針（文部科学省）

- 幼児期において獲得しておきたい基本的な動き
  - 「体のバランスをとる動き」  
立つ、座る、寝ころぶ、起きる、回る、転がる、渡る、ぶら下がる など
  - 「体を移動する動き」  
歩く、走る、はねる、跳ぶ、登る、下りる、這う、よける、すべる など
  - 「用具などを操作する動き」  
持つ、運ぶ、投げる、捕る、転がす、蹴る、積む、こぐ、掘る、押す、引く など



7

## 「遊び」に関する調査

小中学生の“遊び”に関する意識調査

（バンダイこどもアンケート・2018）

- 小中学生の遊び 小学生1位「遊具遊びや鬼ごっこ・かくれんぼ」、中学生1位「スマートフォン・携帯電話などネットワーク端末」
- 小学校5～6年生のタイミングで、人気の遊びは“外遊び”から、「ゲーム」や「スマートフォン」に変化
- 最近の子どもの遊び場所「自宅」で遊ぶ子どもは92.1%
- 「公園」で遊ぶ子どもも49.3%と半数近い結果



8

## 「遊び」に関する調査

### 小中学生の“遊び”に関する意識調査

(パンダイこどもアンケート・2018)

- ・ 親子で比較すると、子どものランキング上位には「ショッピングモール」、親世代には「空き地」がランクインしており、世代で遊び場所の違い
- ・ 学校の授業以外の過ごし方1位は「屋内・屋外で遊ぶ」(94.0%)
- ・ 4割以上の子どもが「テレビ以外で動画視聴(YouTubeなど)」を楽しむ

9

## 本日の内容

- ・ こどもにとっての「遊び」とは
- ・ 発達が気になる子の「遊び」について
- ・ 作業療法と「遊び」
- ・ 保護者支援について



10

## 「遊び」の発達分類

ピアジェ

|        |                |                                                                                               |
|--------|----------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|
| 感覚-運動期 | 0～2歳           | 言葉ではなく感覚によって物事を把握していく。<br>「循環反応」 「対象の永続性」                                                     |
| 前操作期   | 2～7,8歳         | 物事を自分のイメージを使って区別して認識できるようになる。<br>創造力や想像力を働かせた「見立て遊び」や「ごっこ遊び」を盛んに行う。<br>「自己中心性」 「アニミズム」 「象徴機能」 |
| 具体的操作期 | 7,8～11,12歳     | 論理的思考力が発達し、相手の気持ちを考えられるようになる。<br>数的概念が理解できるようになり、重さ・長さなどの比較も可能になる。<br>「保存性の習得」 「脱自己中心性」       |
| 形式的操作期 | 11,12～14,15歳以上 | 物事に筋道を立て、予測しながら考える論理的思考のほか、<br>「抽象的思考」ができるようになる。                                              |

11

## 「遊び」の発達分類

パーテン

|         |          |                                                                                                  |
|---------|----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 何もしない行動 | 0～3ヶ月くらい | 何もせずにぼんやりとし興味があるものがあれば見る。                                                                        |
| ひとり遊び   | 0～2歳くらい  | 玩具の取り合い以外は他の子どもと関わることはなく、自分の遊びに熱中する。                                                             |
| 傍観者行動   | 2～3歳くらい  | 他の子どもの遊びを傍観し口出しすることはあっても、遊びに加わろうとはしない。                                                           |
| 平行遊び    | 2～3歳くらい  | お絵描きや折り紙をしたりとみんなで同じ遊びをするが、平行して展開するだけで子ども同士の関わりが見られない。一緒に遊んでいるという感覚はある。                           |
| 連合遊び    | 3～4歳くらい  | 遊びの中で子ども同士のやりとりがあり道具の貸し借りができるが、役割分担をしたりリーダーシップをとったりする子どもは見られない。同じ遊びをしてもイメージが異なっていることが多い。         |
| 共同遊び    | 4歳以上     | 子ども同士で一緒に遊びながら役割を分担し、遊びを展開する。遊びの中にルールを取り入れることが可能になり、子ども同士でルールを話し合うこともできる。遊びの中でリーダーシップをとる子どもが現れる。 |

12

## 「遊び」の機能分類

|        |                                                        |
|--------|--------------------------------------------------------|
| 感覚運動遊び | 指しゃぶり、すべり台、ブランコ、スポーツなど<br>体を動かすことで得られる感覚を楽しむ。          |
| 操作的遊び  | ガラガラ、積み木、描画など<br>上肢機能の発達に伴って複雑になっていく。                  |
| 模倣的遊び  | 大人の模倣、おままごと、ごっこ遊びなど<br>実物を使った遊び、日常生活の再現やそこから離れたごっこ遊び。  |
| 受容的遊び  | テレビ、動画、絵本、音楽鑑賞など<br>楽しみの幅を広げ、実体験できないことを疑似体験することができる。   |
| 対人的な遊び | いないいないばあ、くすぐり遊び、集団遊びなど<br>愛着の形成、遊びの楽しさを広げる、社会性を学ぶ場となる。 |

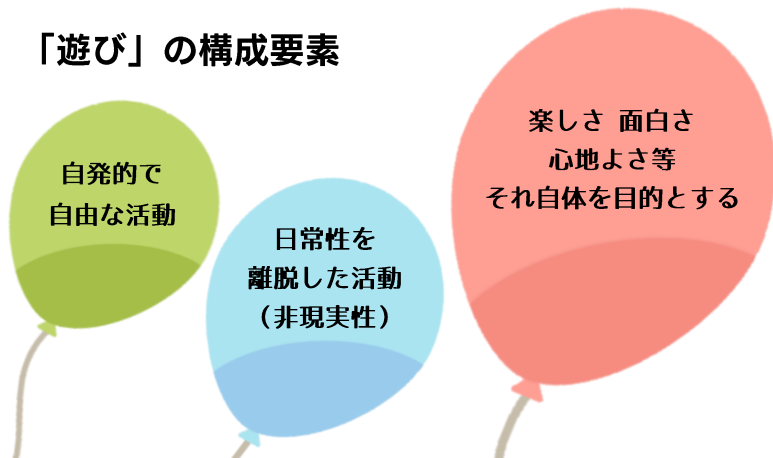
13

## 「遊び」と道具



14

## 「遊び」の構成要素



15

## 「遊び」のメカニズム



16

## 「遊び」のメカニズム

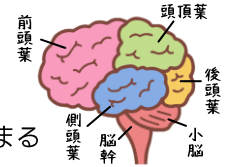
- ・新しいものに出会ったり、どうなるか分からないと **わくわく**
- ・**わくわく** すると脳のなかで**ドーパミン**が出る
- ・**ドーパミン**（幸せホルモン）は前向きになれる、目標に向かって頑張る力になる
- ・**好奇心** や **意欲** が **わくわく** とつながっている



17

## 「遊び」のメカニズム

- ・**わくわく** することをやると **情動** がうごく
- ・**情動** とは扁桃体という大脳辺縁系からおこる感情
- ・大脳辺縁系には **記憶** と関係の深い海馬もある
- ・**情動** と **記憶** は密接にかかわっている
- ・情動が動くと記憶に残りやすく **学習効果** が高まる
- ・**アクティブラーニング** はいかに情動をうごかすか



18

## 「情動」と「情緒」について

情動とは

外部の刺激に対して直接的に反応する一時的な感情や神経生理学的な反応

情緒とは

より長期的で安定した感情の状態

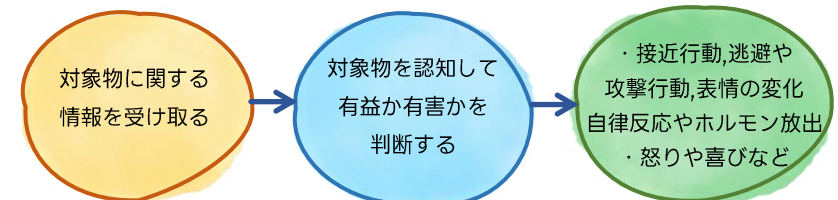
情緒豊か 情緒不安定 情緒的発達



19

## 「情動」の脳内における情報処理過程

- ① 感覚刺激の受容
- ② 感覚刺激の生物学的価値評価と意味認知
- ③ 情動の表出・主観的体験



20

## 情緒の発達

|       |                                    |        |    |
|-------|------------------------------------|--------|----|
| 新生児   | 苦痛                                 | 興味     | 満足 |
| 3か月   | 悲しみ 嫌悪                             |        | 喜び |
| 6か月   | 苦痛 悲しみ 嫌悪 恐怖 怒り 興味 驚き 満足 喜び        | 基本的な感情 |    |
| 1歳半   | 客体的自己の認識 = 照れ 憧れ 共感                |        |    |
| 2歳～3歳 | 規準、規則、目標の認知 = 困惑 罪悪感 恥 誇り<br>他者の認知 |        |    |

21

## 「やる気」スイッチ ON

- ・カラダを動かす
- ・いつもと違うことをする
- ・ごほうびを与える
- ・なりきる



22

## 「ついやりたくなっちゃう」のメカニズム

アフォーダンス (affordance/afford与える・提供する)

- ・環境が動物に提供する価値
- ・動物にとっての環境の性質
- ・環境が人を動かしている
- ・環境を変えれば人の動きも変わる
- ・人は動くことによって世界を知る



23

## 本日の内容

- ・こどもにとっての「遊び」とは
- ・発達が気になる子の「遊び」について
- ・作業療法と「遊び」
- ・保護者支援について



24

## 発達が気になる子の「遊び」の特徴

- ・感覚調整機能の偏り



面白い感覚の経験不足

- ・運動発達の遅れ



おもちゃや遊具で遊べない

- ・言語発達の遅れ



一人遊びから広がらない

25

## 発達が気になる子の「遊び」の特徴

- ・運動機能

低緊張、筋力の弱さ、協調運動の苦手さ

- ・興味と行動

反復的感覚運動、同一性へのこだわり

- ・社会性

扁桃体、共感性ネットワークの発達異常



26

## 発達が気になる子の「遊び」の特徴

- ・模倣や共感することの難しさ



- ・試行錯誤の難しさ



- ・成功体験の経験や積み上げが乏しい



セルフケア  
日常生活  
愛着形成  
レジリエンス  
二次障害へと…

27

## 発達が気になる子の情動制御

情動制御とは

個人の目標を達成するために、一時的で強いという特徴をもつ情動に対して、自身で、あるいは他者の助けを得ながら、モニターし、評価し、変化させること

ASDの情動制御の困難さ

- ・状況や自身の情動を推測することの苦手さ
- ・思考の硬さ、計画的に問題を解決する力の乏しさ
- ・感覚の過敏さなどからネガティブな情動をより強く経験している
- ・情動制御に関わる扁桃体や前頭皮質などにおける神経生理的機能不全

28

## 本日の内容

- ・こどもにとっての「遊び」とは
- ・発達が気になる子の「遊び」について
- ・作業療法と「遊び」
- ・保護者支援について



29

## 作業療法について

- ・作業療法の「作業」とは
- ・子どもにとっての「作業」は「遊び」
- ・大人にとっても「作業」は「遊び」
- ・思い切り遊ぶことによってなりたい自分になれる



30

## 「遊ぶ」ことは対象を操作すること

### 対象操作機能

- ・直接的 対象操作レベル
- ・準間接的 対象操作レベル
- ・亜間接的 対象操作レベル
- ・間接的 対象操作レベル
- ・超間接的 対象操作レベル



31

## 対象を操作するために必要なもの

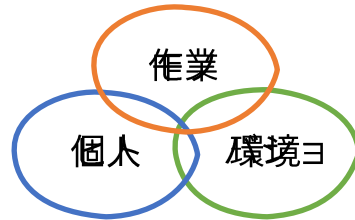
- ・身体図式  
身体の形態、大きさ、位置、姿勢、運動などを把握するために獲得されるイメージのことで、無意識に運動制御に関与している
- ・行為機能
  - ① 観念化（アイデアのひらめき）
  - ② 計画（運動企画・順序立て・段取り）
  - ③ 遂行（実行・試行錯誤・微調整）
- ・認知機能



32

## じょうずに遊べないのは？

- ・対象操作機能とカラダの関係
- ・対象操作機能レベルの選択
- ・カラダのどこに焦点をあてるか  
感覚面 運動面 認知面 ...



33

## ケース①

- ・3歳 男児 ASD
- ・同一性保持 未発語
- ・感覚面はガンガン系+マイペース系
- ・ADL全般で親の介助が必要
- ・好きな遊びは人形を床に並べる、砂場、トランポリン



34

## ケース①

- ・いろいろな感覚を受け入れて、楽しいと感じることはできる  
が物との関係や執着が強く、そこから広がりにくい
- ・おもちゃは最低限にして触れ合い遊びのなかで、  
人への注意、興味、要求を引き出す



35

## ケース①

- ・家庭での実践  
「遊び」に焦点を当てたかわりを実演  
同じ時間で実際に体験してもらう  
家庭で可能な計画を一緒に立てる



36

## ケース②

- ・小学3年 男児 通級利用 DCD
- ・学校への行きしぶり、不登校あり
- ・勉強にはそれほど困り感ない
- ・友達とトラブルを起こすことがある
- ・スポーツが好き 特にサッカー



37

## ケース②

- ・子「サッカーでシュートを決めたい」
  - ・親「字が下手で鉛筆の持ち方が悪い」  
「姿勢も悪くて注意しても直らない」
- ①サッカーでシュートを決めるためのOT
  - ②家庭でも実践 親もOTと同じ立ち位置に
  - ③書字も同じように実践



38

## 本日の内容

- ・こどもにとっての「遊び」とは
- ・発達が気になる子の「遊び」について
- ・作業療法と「遊び」
- ・保護者支援について



39

## 家族支援として

- ・「何をやっているか分からない」と言わせないために
- ・子どもの「遊ぶ」姿を見てもらう
- ・家庭で実践できるように導く
- ・フォローアップできる環境をととのえる



40

## まとめ

- ・「遊び」はこどもにとって大切な作業
- ・発達の気になる子はじょうずに遊びにくい
- ・作業内容やヒト、モノ、バショで考えてみる
- ・家族と一緒に遊べる方法を共有



41

## 引用・参考文献

- ・「発達障害の作業療法 基礎編」 岩崎清隆 他 著 三輪書店
- ・「のうだま」 上大岡トメ・池谷祐二 著 幻冬舎
- ・「エビデンスでひもとく発達障害作業療法」 加藤寿宏 他 著 シーピーアール
- ・「発達OTが考える子どもセラピーの思考プロセス」 小西紀一 監修 メジカルビュー社

## 参考サイト

- ・発達障害ナビポータル <https://hattatsu.go.jp/>
- ・国立障害者リハビリテーションセンター 脳機能系障害研究部 発達障害研究室  
<http://www.rehab.go.jp/ri/departj/brainfunc/dds/>

42



ご視聴ありがとうございました。  
アンケートへの回答  
よろしくお願いします。



↓概要欄にリンクあります↓

43

岐阜県立希望が丘こども医療福祉センター  
地域療育システム支援事業

先生のための相談支援  
こどもに寄り添う支援方法を一緒に考えます!!

園での困りごとや事業所での支援に関するお悩みなど、  
発達が気になるお子さんに対する理解や支援方法について  
理学療法士と作業療法士と一緒に考えサポートします!  
対象は児童発達支援事業所、発達支援教室、保育園、  
幼稚園、こども園などで働かれている職員の皆様です。

なぜこんな **行動** をするんだろう…  
いつもやってる **活動** って  
これでいいのかな…  
発達を促す **遊び** って  
どんな方がいいのかな…  
**姿勢** や **運動** について  
専門家に聞いてみたいな…

無料相談 受付中!  
オンライン 40分 (要予約) または 電話 はこちらから

お申し込みは  
こちらから

地域療育システム支援事業の  
ホームページからも申し込み可能です  
岐阜県 地域療育

44

**利用の流れ**

**申し込み**  
フォーム または TEL( 058-201-0087 )

**日程調整**  
当方よりお電話してスケジュール調整いたします

**書類提出**  
申込書と保護者同意書、支援計画書等を提出

**訪問支援**  
リハビリスタッフが施設へ訪問して、発達の見立てや特性の理解、困りごとの解決など支援方法についてサポートいたします

**支援者向け 訪問支援**  
無料

リハビリスタッフが児童発達支援事業所、発達支援教室、保育園、認定こども園、幼稚園などに訪問して、お子さんの発達の見立てや生活支援のサポートを行います。  
当センターでリハビリを行っているお子さんが対象の場合は、担当療士の情報提供も行います。当センターを利用していないお子さんが対象の場合でも、訪問支援の利用は可能です。

お申し込みはこちらから

岐阜県立希望が丘こども医療福祉センター 地域療育システム支援事業

岐阜県 地域療育 検索

45

**出前研修**  
無料

**対象**

- 児童発達支援事業所
- 市町の発達支援教室
- 放課後等デイサービス事業所
- 小学校 など

**内容**

- 運動発達について
- 感覚・遊びについて
- コミュニケーションについて
- 活動内容や支援方法について
- ケース検討 など

理学療法士や作業療法士、言語聴覚士が運動発達やコミュニケーション、発達が気になるお子さんへの支援方法や活動の組み立て方等、実技を交えた講義やケース検討会などを行うことができます。

お申し込みはこちらから

岐阜県立希望が丘こども医療福祉センター 地域療育システム支援事業

岐阜県 地域療育 検索

46

**見学研修**  
無料

**対象**

- 児童発達支援事業所の保育士、幼稚園教諭、指導員、看護師
- 小児リハビリテーションに関わる療士 など

**内容**

- リハビリ見学 (PT・OT・ST)
- 児童発達支援 (肢体不自由児・重心) の活動見学
- 講義 (発達障がい児への基本的な関わり方、姿勢・運動など)
- 遊具体験 など

**スケジュール例**

| 時間    | 予定        | 内容                  |
|-------|-----------|---------------------|
| 9:00  | オリエンテーション | 当センターの概要説明など        |
| 9:30  | 講義        | 発達が気になるお子さんへの関わり方   |
| 10:30 | 発達支援の活動見学 | 児童発達支援センターでの保育活動の見学 |
| 11:30 | 質疑応答      | 見学内容について            |
| 12:00 | 休憩        |                     |
| 13:00 | 遊具体験      | 感覚統合や粗大運動遊具など       |
| 14:20 | リハビリ見学    | PT・OT・ST見学          |
| 16:00 | 質疑応答      | 見学内容について            |
| 16:30 | 終了        | アンケート記入             |

お申し込みはこちらから

岐阜県立希望が丘こども医療福祉センター 地域療育システム支援事業

岐阜県 地域療育 検索

47